

2026

いいづなりんごフォーラム

令和8年 2月6日(金) 開場受付 9:30~

農閑期に集い、学ぶ

会場

いいづなアップルミュージアム

長野県飯綱町大字倉井5

入場
無料

午前の部

9:55~ 町長メッセージ

10:00~10:40

■ 2025年長野地域のりんご生産概況

▶ 長野農業農村支援センター 担当係長 重藤 奈央氏

■ 腐らん病を防いで守ろう優良りんご産地

▶ 長野農業農村支援センター 普及指導員 小林 溪一郎氏

10:45~11:30

■ りんごを育て、人を育て、 苦難を越えネット販売トップに！ 安曇野ファミリー農産の稼げる果樹経営

▶ (有)安曇野ファミリー農産 ナカムラフルーツ農園 代表 中村 隆宣氏

11:35~12:15

■ 驚きの新品種！スーパー赤果肉「IHR17」の栽培法・活用法

▶ 信州リンゴ研究所所長 信州大学農学部名誉教授 伴野 潔氏



昼休憩

12:15~13:00

12:30~

スマート農業機器（小型自動散布機、運搬車等）の展示／（株）ラポーザ
コンパクト選果機器 VEGETECT™のデモンストレーション／TOPPANデジタル（株）
飯綱町の新名物に！「飯綱町産りんごのホットアップルサイダー」ふるまい

昼食 館内のアイカフェでカレー限定数50食（※受付にて先着順）

午後の部

13:00~13:40

■ 赤果肉りんご（ムーンルージュ・なかののきらめき等）を高品質にする栽培法

▶ 吉家果樹園園主 育種家 吉家 一雄氏

13:45~14:25

■ 中山間地域の果樹栽培で使えるスマート農業機器は —そして、増える鳥害・獣害に 対応するものは—

▶ 株式会社ラポーザ 代表取締役社長 荒井 克人氏

14:30~15:15

■ 成功に導く新わり化・高密植栽培とは

▶ 全国農業協同組合連合会長野県本部 生産振興部 技術審議役 玉井 浩氏

主催 / 飯綱町産業観光課
後援 / JAながの飯綱りんご部会
飯綱町農業経営者協議会
飯綱町認定農業者協会

お問い合わせ / 産業観光課農政係
☎ 026-253-4765

出演者プロフィール

長野農業農村支援センター

担当係長 重藤 奈央 氏 / 普及指導員 小林 溪一郎 氏

農業農村支援センターは長野県下10か所に配置され、地域農業の技術・経営の指導、情報センターの役割を持つ組織。農業技術や経営の方法について農業者に集団指導や個別指導を行う。重藤奈央氏は技術経営普及課で、りんごを中心に果樹が専門。小林溪一郎氏は技術経営普及課の地域第一係で飯綱町を担当する。



安曇野ファミリー農産 ナカムラフルーツ農園 代表 中村 隆宣 氏

りんごの栽培条件に恵まれた清らかな湧水の地—安曇野で、皆が安心して食べられるりんご作りをモットーに、有機肥料中心の栽培方法を取り入れた果樹園を経営。アメリカ、ブラジル等にて農業研修。1996年に農業法人(有)安曇野ファミリー農産を設立。2006年ピンクレディー®協会を設立、新たな品種に挑戦し続ける。2020年ネット販売をスタート。以来、食べチョクアワードの連続上位となる。

信州リンゴ研究所所長 信州大学農学部名誉教授 伴野 潔 氏

信州大学農学部で40年にわたってりんごを中心とした研究・品種開発を行う。令和2年、楽しみながらの研究人生に感謝しつつ退職。現在、信州リンゴ研究所を立ち上げ新品種開発を継続。信州大学農学部時代に育成した「ハニールージュ」を親品種にした、注目のスーパー赤果肉品種「IHR-17」を生み出す。自身の育成したリンゴを使ってタルトタタンも自ら作る。



吉家果樹園園主 育種家 吉家 一雄 氏

農業大学校時代に観賞用りんごの赤い果肉に衝撃を受ける。当時、食味の良い赤果肉りんごはなく自ら作ろうと一念発起する。約30年間にわたり赤果肉りんごの新品種育成に取り組む。平成26年に品種登録した5品種を皮切りに、次々と赤果肉品種を生み出す。現在は韓国、ニュージーランド、アメリカなど海外でも契約栽培されている。

株式会社ラポーザ 代表取締役社長 荒井 克人 氏

自然環境調査及び土地測量を事業の柱とし、斜面が多く農地が狭い中山間地域の農業支援事業を積極的に行う。課題解決にハード・ソフトの両面から取り組む。エコツーリズム事業、クラフトビール製造業にも着手。生まれ育った長野市往生地に類似する中山間地域での小型自動農薬散布機や運搬車、草刈り機を導入したスマート農業を提案する実証実験を積極的に行う。



全国農業協同組合連合会長野県本部 生産振興部 技術審議役 玉井 浩 氏

長野県果樹試験場でりんごを中心とした研究に携わってきた。栽培部長時代には、県オリジナル品種シナノスイート、シナノゴールドの育成・栽培の貢献で長野県果樹試験場が評価され、権威ある学術団体—園芸学会から園芸功労賞を受賞(2017年)。長野県果樹試験場が全国に先駆け推奨してきた「新らい化・高密植栽培」の研究と普及に務められ、現在、JA全農長野の生産振興部で技術審議役として指導にあたる。

会場内でのお願い

- 講演中の私語、大声はご遠慮下さい。
- 感染予防のマスク着用にご協力下さい。
- 体調不良時はご入場をお控え下さい。
- 入退出時には、手指のアルコール消毒をお願いします。

駐車場案内

駐車場スペースには限りがあります。お乗り合わせでのご来場をお願いいたします。

注意事項

会場・駐車場で発生した事故・盗難は主催者は一切責任を負いません。ご了承ください。

